

富山市東岩瀬の景観まちづくりに当って

—北前船 回船問屋群のまちなみ整備とまちの活性化策の展開—

森 俊偉（金沢工業大学建築系教授／榎森 俊偉+ARCO建築・計画事務所主宰 北陸ブロック）

戦災によって多くを焼失した富山市において、東岩瀬の街は、数少ない歴史的な風情を留めている所です。こうした伝統的な街並と風情を維持・保全しつつ、まちの賑い再生へと展開できればという思いの下に、この事業は進められました。

街並修景に関しては、調査によって明らかになった伝統的家屋の造り（東岩瀬回船問屋型家屋、防火土蔵造り型家屋など）に応じた具体的な修景手法の構築、ルールづくり、補助制度づくりを図り、同時に、現代的な造りに置き換

ている一般建築物などについても具体的な修景方策を整え、条例化へと作業を進めています。活性化策に関しては、まちなみ修景の考え方の枠の下に、新しいプログラムを導入しつつ町屋の活用を図り、交流人口と滞在時間の増加を目論んでいます。

富山港線のライトレール化事業、及び岩瀬のもう一つの重要な資源である水辺環境活用策との一層の連携強化が、東岩瀬の街そのものをより魅力あるものに再生していくと考えています。

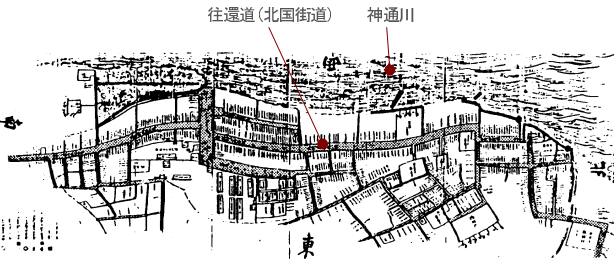
・回船問屋群の並ぶまちなみ：



・まちなみの修景イメージ：



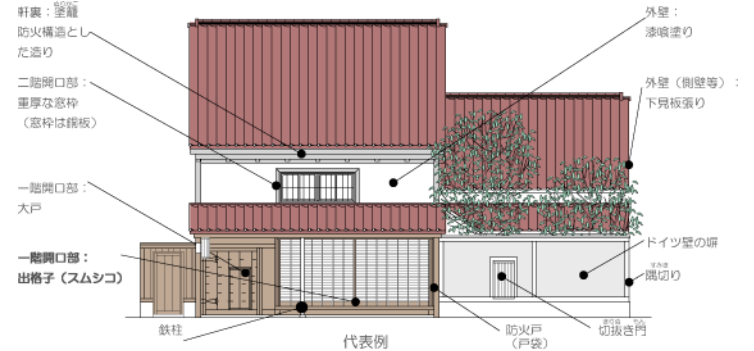
・江戸期の岩瀬の町のようす：



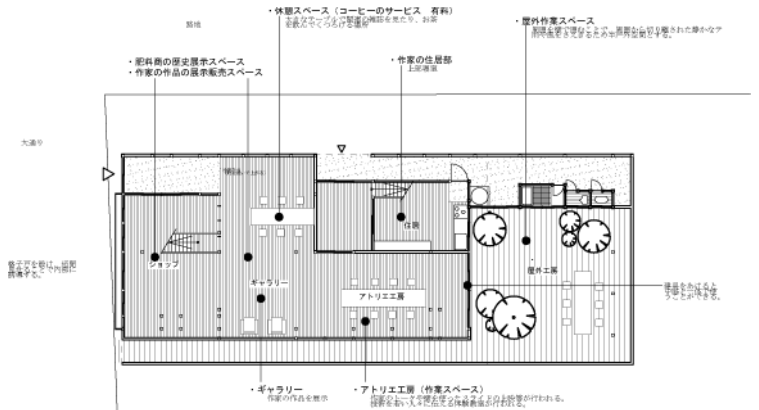
・東岩瀬のまちなみ立面図：



・東岩瀬回船問屋型の家屋の修景手法：



・町屋の改修整備プログラムの例：



・現在の岩瀬の町のようす：

